

瑞岩寺報

2018.01.01
(平成30年 睦月)

【正月号】

お正月総合案内

お正月ご祈禱法要

お正月は毎日、天地が招福除災を祈念する大般若ご祈禱を勤行します。

お正月は前年の悪を反省し、新たな年の誓いを立てる、年初めにふさわしい行事です。

ご祈禱は左記の通り行われます。

厄年厄除・病氣平癒・交通安全・良縁成就・開運厄除・家内安全・無事成就・商売繁盛・学業成就・試験合格などのご祈禱のお申し込みは同封の申込書をお寺まで持参されるか、ファックス(0276-37-5535)してください。申込用紙はホームページからダウンロードできます。ご希望日時をお書き下さい。

【期 日】 1月元日(月)

1月2日(火)

1月3日(水)

【時 間】

午前9時・10時・11時

午後1時・2時・3時頃の6回

【ご祈禱料】

ご祈禱紙札(小)

ご祈禱木札(中)

ご祈禱木札(大)

3,000円

5,000円

10,000円

ご祈禱木札(特大) 20,000円

【お願い】

- 一、お願い毎は二つまでにしてください。
- 一、ご祈禱札にはお守りがつきます。
- 一、法要にはなるべく本人がご参加ください。
- 一、希望の方には郵送しますので申し込み書にお書き下さい。

年始参詣

【期 日】 1月元日〜3日

【時 間】 午前7時頃〜午後5時まで

※本堂にて新年の挨拶をされた方に、瑞岩寺の新年祈禱札と平成30年度カレンダーをさしあげます。是非、皆様お揃いで気軽にお出かけ下さい。
お年賀冥加金を同封させていただきます。お気持ちをお供えいただければと存じます。

合掌



合掌

厄年早見表

◇からだの変わり目◇

	後 厄	本 厄	前 厄
男の大厄 42歳	昭和51年	昭和52年	昭和53年
女の小厄 37歳	昭和56年	昭和57年	昭和58年
女の大厄 33歳	昭和60年	昭和61年	昭和62年
男25歳の厄年	平成5年	平成6年	平成7年
女19歳の厄年	平成11年	平成12年	平成13年
幼児4歳の厄年	平成26年	平成27年	平成28年
男女61歳の厄年	昭和31年	昭和32年	昭和33年
13歳詣り	男女平成18年		

お墓そうじ 瑞岩寺にお墓のある方へのご案内です

【期 日】 12月24日(日)

【時 間】 午前7時から

お正月が近づいてきました。お墓のお掃除をしましょう。この暮のうちに仏壇をきれいにしてお供え、お花を飾り準備を整え、元日早朝、若水を汲み供え、一家そろって仏壇に手を合わせ、よき新年をお迎えになることは、私たちの善行の始まりだと思います。さらに、お寺に参拝してご先祖様に感謝の誓いを祈ることこそ意義深い

- ◆初詣でになると思います。一斉お墓掃除を右記のごとく行います。たまには早起きしてお墓掃除も気持ちいいものです。お子さんやお孫さんといっしょにどうぞ。
- ◆強制ではありません。また、上記以外の日や時間も受け付けております。
- ◆自分のお墓の掃除が終わったら、通路など共有の場所のお掃除も積極的にお願いします。
- ◆遠方の方はお寺でやっていただきますのでご安心ください。
- ◆飲み物はお寺で用意してあります。

「三草一木に見る『ごちやませ』社会の可能性」

テレビ「カンブリア宮殿」など多くのメディアで取り上げられている、石川県金沢市の「社会福祉法人佛子園」を訪問させていただいた。社会福祉関係の方なら知らない人はいない程有名な施設である。その理事長が日蓮宗蓮昌寺ご住職雄谷良成（おおよりよせい）さんだ。以前から興味があり、一度お会いしてみたいと思っていた。

雄谷さんの原点は、戦後の1960年、寺で戦災孤児を受け入れたことに始まった。子どもたちの成長とともに彼等の成長を支えていたそう。そんなある日、転機がやってくる。きっかけとなったのは小松市にある西園寺。住職が亡くなったこの寺をなんとかして欲しいと住民に懇願された。町の人と2年をかけて話し合い、人々が集う憩いの場として蘇った。寺の本堂はCaféとなり、町のコミュニティスペースとなった。これが佛子園の『ごちやませ』の始まりだ。

障害のある人もない人も老若男女、すべての人が遊びに来る場所を目指した。住民の人は無料。観光客も引き寄せる目玉となっている。風呂上がりは、ゆったりくつろげるCafé兼居酒屋がある。町の交流が増えた。高齢者は毎日デイサービスに通ってくる。食事の準備は障害のあるスタッフが行う。障害者と健常者が混ざり合う。自閉症の方も本人の特質に合わせて、床を掃除しスリッパをきちんと揃えることに役立っている。

いろいろな人が『ごちやませ』になると活気が生まれ、役割が生まれるという。人と人がつながる力を源に、佛子園は『ごちやませ』施設の町づくりを進めていった。

西園寺オープン5年後、1万坪の敷地に『ごちやませ』の町を作りあげた

の有名な「シェア金沢」。施設内には商業施設の他、終の棲家として移住してくる高齢者が住むサービス付き高齢者住宅、障害者施設、学生向けの格安賃貸住宅が並ぶ。多様な人が暮らす町となる。売店では、サ高住の入居者がレジを打つ。住民が交代で店番をする仕組みが自然な交流を生む。自転車で遊びに来るのは近所の小学生。お目当は敷地内の牧場で飼っているアルパカだ。

だれもがいろいろな人と触れ合えることが町の魅力となっている。佛子園では当たり前のようにできている『ごちやませ』の空間。障害を持っている彼等が仕事をできる場所を、スタッフ全員がいつも考えている。これまで障害の原因と考えられていた問題行動が生活習慣、接し方、環境で改善することがわかった。その人を信頼して仕事を任せているために、スタッフが何ができるかを話し合う。一人一人の気持ちを見るように心がけているそう。

誰でも「認められたい」「必要とされたい」場づくり。

試みはさらに広がった。2016年、白山市にオープンしたのがB's行善寺。昔からある地域に、障害者や高齢者、子どもたちの施設を点在させ連携するB's行善寺。地域全体をかき混ぜる役割として存在する。子どもたちが思い切り遊べる公園や、誰もが集える訪問施設を作った。施設の中心となるのは地域養育型ウエルネス。ここでは若者の健康作りや、お年寄りのリハビリ、子どもたちの発達支援も『ごちやませ』誰もが行き交う町の拠点となっている。

地域の中で「生きにくい」と思われている人が本当はどうかを考えた。その人ではなく、周りの環境ではないのか？

か？『ごちやませ』とは「地域共生社会」であり、「地域の人と一緒に考える」のが雄谷氏のモットーだ。

雄谷氏の想いのスタートは、若いころの青年海外協力隊。25歳のときにドミニカ共和国に行った。電気も水道もないのに幸せ度が高いのはなぜなのか？フィジーでは人にはそれぞれ役割があつて、すべての人が機能していることに感動したという。

「あくびは伝染する」。動物心理学によれば人間は周りの人に「共感する力」が自然と備わっているという。

最初のHAPPYは次の人の15%をHAPPYにし、その次の10%、その次は6%をHAPPYにすると書籍『つながり社会的ネットワークの驚くべき力』（ニコラス・A・クリスタキス）には書いてある。

高齢者の市民活動やボランティアが「人から必要とされること」で要介護が下がるという。地元の人に自ら「やらせて」「任せていく」ことでお互いが成長する。

自閉症の子が障害者の子のリハビリをプールでしている。引きこもりの大学生が園児のサポートで無遅刻無欠勤になった。お寺のお経を聞いて子どもが合掌を教える。

『ごちやませ』は社会的弱者を排除するのではなく、社会全体でひっくり返していく。まさに共生だ。

このような施設が日本中に広がれば、かけがえのない一人一人が正に仏さま（佛の子）として扱われ、この日本を正に「佛の世界」に変えていくだろう。この金沢の地に浄土の世界が具現化されている。極楽は正にあの世ではなくこの世にある。

私の尊敬する僧侶の方が仰っていた言葉がある。「人は人によってしか絶対に人になれない」と。

瑞岩寺住職 長谷川俊道 合掌

お知らせ

podcast

「HASEEの金曜は聴きこみ寺」
 (旧・こまつた時の聴きこみ寺)
 毎週金曜日好評配信中！

群馬県・太田市にある瑞岩寺の住職HASEEの1風変わったトーク番組。毎週金曜日、未知なる「寺スタジオ」に素敵なゲストをお迎えします！

インタビューであるHASEEが、「住職」という枠を超えて、あんなことやこんなことを聴いていきますよ！

さあ、金曜は寺スタジオでゆったりまったりゲスト対談をお楽しみください。

【お便り先】
www.zuiganji.com のホームページまで
 ベンネーム、年齢、性別とともにお送り下さい！
 ・ iTunes でお聴きになる方には、
<https://itunes.apple.com/jp/podcast/komatta-shino-tingkikomi-si/>
id624486992?mt=2

・ PCで直接聴取される方には、
<http://podcast5.kiqtas.jp/kikikomi/>
 【HASEEへの質問・お悩み相談先】
kikikomi@zuiganji.com まで

ベンネーム、年齢、性別とともにお寄せ下さい！
 ポッドキャストの聴き方は以下を参考にしてみてください！

・ (iPhone, iPad編)
<http://kiqtas.jp/blog/?p=197>
 ・ (パソコン編)
<http://kiqtas.jp/blog/?p=211>

一人一人がかけがえのない存在だから
 普く人に仏さまの智慧と慈悲を

宗教法人 慈眼山 瑞岩寺

群馬県太田市矢田堀町388
 TEL:0276-37-1231 / FAX:0276-37-5535
 E-mail: info@zuiganji.com
 Website: http://www.zuiganji.com

ブログ <http://ameblo.jp/zuiganji/>

- ◇御意見、御要望はいつでもお知らせ下さい。
- ◇お身体をお大切に、お健やかに暮らしてくださいませ。
- ◆み仏さまの御加護を心からお祈りいたします。 合掌

